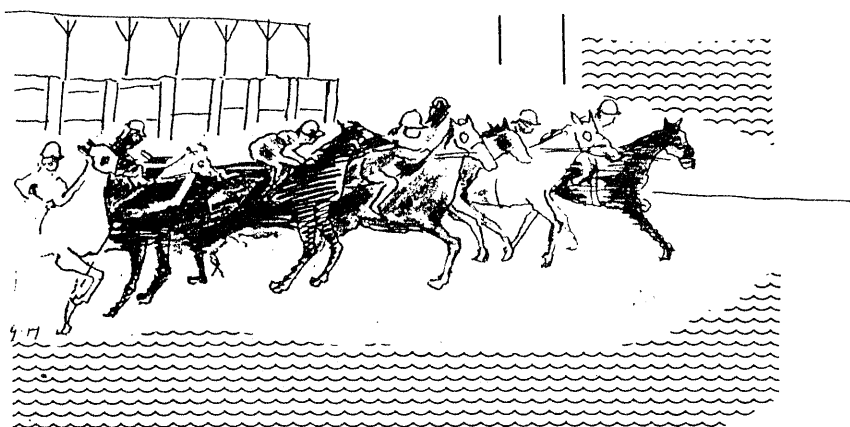


76年のフリーハンデ



夫	秀	田	西
(栗 東)			
也	富	務	各
(栗 東)			
裕		田	柴
(栗 東)			
喬		間	佐
(栗 東)			
充		尾	堀
(東 京)			
士	将	片	岩
(東 京)			
徳	明	田	藤
(中 山)			
房	勝	宮	高
(中 山)			
男	邦		寛
(本 部)			

司会／編集部

恒例となった76年のフリーハンデは、日本中央競馬会のハンデキャッパー9名により、別表のとおり決まった。四歳馬では皐月賞・有馬記念を制し、年度代表馬にも選ばれたトウショウボーイが63kgでトップにランクされた。一方古馬では、ワシントン・DC・インターナショナル競走に出走した昭和50年秋の天皇賞馬フジノパーシアが、51年度の最優秀古馬(牡)に選ばれたアイフルを押えて、63kgのトップハンデとなった。三歳馬では朝日杯で大差のレコード勝ちをしたマルゼンスキーが、前年のテンポイント・ボールドシンボリを上回る57kgにランクされた。全体的に関西馬の不振を指摘された感がある76年度のフリーハンデだが、以下、上位ハンデ陣の決定経過について簡略ではあるがお知らせする。

四歳馬

—— 皐月賞がトウショウボー

イ、ダービーがクライムカイザー、菊花賞がグリーングラスと、昭和51年の三冠競走の勝馬はそれぞれ異な

ったが、やはり有馬記念を勝ったトウショウボーイがトップか。

藤田 古馬を一蹴した有馬記念から、トップは妥当と思われる。ただ

何kgにするかで議論はありそうだ。

堀尾 例年、特に最近の馬と比べてどうか。キタノカチドキは皐月賞・菊花賞を勝って64kg。カブラヤオーは皐月賞・ダービーを勝って63kg。やはりクラシックが一勝では評価を下げざるを得ない。50年

は有馬記念を勝ったイシノアラシが62kgで、私はトウショウボーイも62kgだと考えたが。

岩片 前年のカブラヤオーと同斤にするのはどうだろう。

藤田 ダービーを考えるなら、カブラヤオーと同じようなレース運びで負けたとなると……。

寛 古馬が弱かったともいえようが、しかし天皇賞馬三頭を破っている点は大い。クラシック競走と有馬記念との比重をどう見るか……。

高宮 やはりクラシックが皐月賞だけでは、キタノカチドキの64kgと同じにはできない。

西田 たしかにダービー・菊花賞

の減点はあるだろうが、前年の有馬記念馬イシノアラシの62kgよりは上

にしなければ……。

寛 次位馬とのかねあいもあるが、有馬記念の圧勝からもトウショウボーイは63kgにランクしよう。

堀尾 二番手は、ダービー馬クライムカイザーとなる。秋シーズンにはトウショウボーイにかなわなかったが、春の前哨戦の京成杯と弥生賞に勝っている。フロックでダービーを制した訳ではない。

高宮 50年の菊花賞馬で京都新聞杯に勝ったコクサイプリンスは61

kg。グリーングラスは条件馬であっ

たが、同斤の61kgでいいと思う。やはり菊花賞は重みがあるし……。

佐久間 グリーングラスが61kgならテンポイントも並べてもいい。皐

月賞・菊花賞・有馬記念は各二着だが、東京4歳SとスプリングSを勝っている。力がある馬でなければこの成績は残せない。

—— 牝馬のテイタニヤは。

柴田 桜花賞・オークスを制する馬は、やはり何年かに一頭の牝馬といつてよい。50年度のテスコガビーの60kgは異例とも言えるだろうが、59kgでもおかしくはない。(以下略)

古馬

藤田 古馬については難しい感じ

だ。どの馬がトップだとすぐには言えない。

堀尾 目やすになるのは天皇賞馬

のアイフルとエリモジョージであるが。

藤田 ローレルへの推せん委員会

の時点ではフジノパーシアが一番強い馬だと判断した訳だが……。

西田 アイフルが成績的にエリモ

ジョージよりも上だと思う。フジノパーシアとの比較は難しいが……。

しかし有馬記念で天皇賞馬が四歳馬にまとめて敗れた点は何ともスッカリしない。

堀尾 私はエリモジョージがアイフルよりも上だと考えてきた。成績的にはムラがあるが、何と言っても60 kg以上を負担しての函館記念、京都記念のレコード勝ちに光る。アイフルは堅実だが、勝ったレースの斤量は軽い。

寛 この二頭は脚質的に両極端である。春の天皇賞と秋の天皇賞の違いもあり、秋はどうしても春の再戦といった印象がある。天皇賞馬の比較にはいろいろと意見のあるところだが、エリモジョージ、アイフル、

フジノパーシアの三頭をトップにすることも考えられる。

高宮 アイフルとエリモジョージの同斤には賛成だが。

藤田 フジノパーシアの場合、有馬記念の成績は考えなくてもいいのではないか。

柴田 春に勝ったダイヤモンドS、宝塚記念、高松宮杯の競走の格は高い。成績的に一長一短がある51年度の天皇賞馬よりも、やはり説得力はある。

各務 フジノパーシア一頭に限って言えば、50年度は東京新聞杯と天皇賞で62 kgのトップハンデ。51年度は天皇賞を別にして、春の段階で重

賞に三勝しているのだから、やはり前年を上回る成績を残したといえる。それだけに63 kgをつけてもおかしくはない。しかしアイフルやエリモジョージが、いきなり63 kgでは……例年の天皇賞馬と比べてどうか。

西田 49年、50年に61 kgをつけたカミノテシオやイチフジイサミよりも評価は高いだろう。かと言って他に大きなキメ手がなければ一つ上の62 kgが順当だろう。ある程度の成績を残した天皇賞馬は62 kgというのが、これまでのフリーハンデ作成の基本線になっているのではないか。

49年度のタケホープは天皇賞とAJC杯を勝って62 kgだった。

——カブラヤオーを、どう見るか。

高宮 順調に走ってれば一番強い馬であったと思う。4戦3勝の成績はすべてオープンとオープン特別競走。有力馬との対戦がないのでハンデはつけにくい、別格扱いで天皇賞馬の下の61 kgと見てどうか。

藤田 古馬にあってはどうしても天皇賞を中心にして考えられるが、シルバークランドやニシキエースのように、短距離レースでの安定味という個性のある馬も高く評価されていいと思う。その意味で59 kg、58 kgをつけた。

(以下略)

三歳馬

——本年のクラシックと関連する51年度の三歳馬はどうであったか。

佐久間 例年に比べて、東西とも層は薄いように感ずる。特に北海道デビュー組がやや不振のようだ。

岩片 東はマルゼンスキーがトップで、二番手になるヒスピードとの差は2 kgはある。

藤田 マルゼンスキーの朝日杯でのレースぶりは立派だった。ハロン

タイムもいい。

西田 関西では三歳の主なレースの勝ち馬は目まぐるしく変わっている。かと言ってこれらの馬にも強調できるポイントが無い。どんぐりの背比べというところだが、レベルは低いと思われる。マルゼンスキーと関西馬との差は3 kgはあるだろう。

堀尾 関東の二番手たるヒスピードと関西馬との比較はどうか。

柴田 関西のトップクラスはヒシ

スピードより評価を下げざるを得ないようだ。

各務 かと言って阪神三歳Sの勝ち馬をそんなに軽視できない。

高宮 ヒスピードは例年に比べれば55 kgの力はあると思う。次に牝馬のセーヌポートとフジビゼンが54 kg。函館三歳Sを勝ったソーウナムサシは53 kgだろう。

柴田 そうなると関西馬のトップは54 kgか。アータルオー、ナルタキ

サンダー、リュウキコウが並ぶことになる。3 kg差ということで関東のトップは57 kgか。

高宮 ヒスピードの55 kgからすれば、やはり2 kg差を認めざるを得ない。

——三歳時はともあれ、本年に各馬がどれだけ成長を見せるか、クラシックレースを楽しむに待ちたいものです。

(以下略)

'76年のフリーハンデ

※牝 馬 抽せん馬 ⑧市場取引馬
 ④父内産馬 ⑥外国産馬
 ⑦持込馬 ⑨公営出身馬

四 歳 馬		古 馬		三 歳 馬(東)		三 歳 馬(西)	
63	トウショウボーイ	63	フジノパーシア	57	⑬ マルゼンスキー (ニジンスキー=シル)	54	アータルオー (ファバージ=グデホウウ)
62	クライムカイザー	62	アイフル	55	⑫ ヒシスビード (ヒシマサヒデ=ヒシバクシン)		ナルタキサンダー (サウンドトラック=ゴールデンマニ)
61	グリーングラス		エリモジョージ	54	※ セーヌスポート (ポルトアントエイブル=タミアナ)	⑩	リュウキコウ (リュウファース=リュウアイアス)
	テンポイント	61	カブラヤオー		※ フジビゼン (フーロン=ジョリティ)	53	オーブンファバー (ファバー=オア=アンサス)
59	※④ テイタニヤ	60	ヤマブキオー		※ アリストウコウ (グスタフ=サンビュロー)		リキタイコー (ミンシオ=ソーシークレット)
58	⑥ スピリットスワブス		ロングホーク		※ ミスターケイ (リマント=イブハツヒ)	52	アサヒリマンド (リマント=ソワドレーマ)
	⑨ トリデジョウ	59	イシノアラシ	53	インタースペンサー (ホプキーン=スモウエイバセ)	※	キョウエイテスコ (テスコボーイ=シーサイド)
	ニッポーキング		④ シルバーランド		※ キクアサジロウ (ホウバービート=グランドボウ)		スリーファイヤー (テスコボーイ=サンバ)
57	ミヤジマレング		ハーバーヤング		※ サインシャインボーイ (テスコボーイ=ソーダストリーム)		テンザンサクラ (ホプキーン=スモウエイバセ)
56	※ ディアマンテ	58	タイハウヒーロー		※ ソーウナムサシ (ワッシュェライト=プラントウェイン)		ニホニホバックス (ロードリー=ニホニホローナー)
	パッシングベンチャ		ニシキエース		※⑩ キノカタトラ (サウンドトラック=キノナトリ)	※⑩	ハタノカオリ (セダフ=ミズミシ)
	フェアスポート		ホワイトフォンテン		※ ミヨシボーイ (サウンドトラック=サンセイミドリ)		ケンギイチ (アスチック=タナリス)
55	コウイチサブラウ	57	グレートセイカン	52	ヨシノリユウジン (ガヴァービート=クリエーション)	51	※ アスタニールセン (リマント=ハローック)
	コーヨーチカラ		コクサイプリンス		※ アマミプリンス (フロント=フクイン)		エーワンコトブキ (サウンドトラック=タイヨウコトブキ)
	サンダイモン	56	ノボルトウコウ		② アロバンガード (アロ=エクスプレス=サンバギータ)	※②	ケンザンホープ (フロリバンダ=キューボラ)
④	トウカンタケシバ		カネオオエ		※ カネミ (バー=カネヒムロ)	※②	ジョークイックリー (ダイコター=インデアナポリス)
※	ニッショウダイヤ		キクノオー		※ クニマール (クナーク=ミズハイクラス)		スリークルト (ハイハット=ロイヤルグレイメント)
※	ベロナスポート		スリーヨーク		※ フヨウビゼン (ウェンチア=アレイウガル)	②	セーコンオーカン (ランドオーカン=アンティローペ)
	ホクトボーイ	※	トウコウエルザ		※ ラッキーラー (スチュベンダ=トート)		テルサン (ウェンチア=フミナチェリー)
	メルシーシャダイ		ハクバタロー	51	※ カールスバツ (インターメソ=マリヤローズ)	※	ニホンピロシーマ (ムーティエ=ニホンピロ)
54	※ クインリマンド		ロングラースト		※ タカアキオー (コントライト=ウメノヤイ)		ハシグラインド (シナーク=セイカイイナード)
	ケイシュウフォード	55	ウエスタンリバー		※⑩ ジョー (リマント=マルブツラフ)	⑥	ハリウッドボーイ (デックハンド=エイグリッター)
	ジャンボキング		オウブレス		※② テイボーリヤ (シナーク=セイケン)	※	ファインニッセイ (クナーク=ロイヤルホイスラー)
⑩	ライバフット	※②	メジロジゾウ		※② テイガバナ (コントライト=ミズスイフト)	※	モルドウ (クナーク=インサイドストーリー)
53	エリモファザー	54	④ ロードカップ		※ ドーチェスター (コントライト=ミズスイフト)		ヤタノヒカル (ポルトアントエイブル=ロイヤルサッシュ)
	カミノリュウオー		※ アグネスビューチ		※ ナガラフドウ (グレートホワイ=ウエ=ナガラフ)	※	ヤングエンペラー (イスタフ=ササシム)
※	シービークイン		ウエスタンバード		※ ニッケンオー (シルバーク=キナマツカ)	※	アイノクレスピ (シナーク=クレスピ=キヌコ)
※	スカッシュソロン	※	グリーンファイト		② ハイヌー (アロ=エクスプレス=タマツツ)	※②	オカリ (アロ=エクスプレス=オカリウ)
	バンブトンシェード		グレイトファイター		※ ハッピーダービー (テストケイス=ダービー=セイ)	※	ケイシルバ (ラディガ=シルバ=ア)
	ボールドシンボリ		タケデンジャガー		※ パワーシンボリ (バーソロン=スイートエメラルド)		ダイコンゴ (スターアップ=ア=ボバシロー)
	ホッカイノーブル		トウショウロック		※ メグロモガミ (セダフ=タマコダ)		テンメイ (ルイスデール=トウメイ)
	ユウホープ		ナラサンザン		④ ルドサバンナ (アドミラル=ササシム)		ウカギニ (サウンドトラック=ホワイセフ)
52	※ キミノダービー		ニッショウ	50	※ アサチ (バーソロン=アサチ)	※	ニシマルオーセ (シラブル=マジェスティ)
	クリアロハ	④	ハードラーク		※ ウエスタスリー (フリーウィング=ミズカ)	※	ニホンピロエバート (チャイナロック=ライトフレーム)
	ジョニーエンジェル	⑩	ヤマニンファバニ		※ オノデンキング (コントライト=ミズモントカルロ)		ヒカリエイアル (ファバー=アマトタチ)
	セクターグッド	④	リュウフブキ		※ ゴールデンロード (シズコマンド=トライズ=グロート)		フエアプロ (クロケット=オベラ)
※	タイシオリ		ロイヤルスプリンタ		※ サクラトッパ (タンディ=ササキキウセ)		フジキオー (ロードリー=アランデール)
	ダッシュセタン	53	④⑩ イナボレス		※④ スイートカルダン (スピッドシンボリ=スイートフック)	④	アゼンダグイ (ダイコター=アランデール)
④	タニノレオ		ギフジョウ		※ ダイワテスコ (テスコボーイ=ペアーサンダー)	※	フロークラック (ファバー=イチャバ)
	ハマノクラウド	⑧⑨	ゴールドイーグル		※ タケシユンライ (バーケン=キムスモンタ)		ボーダグ (スバウエル=ミズユー)
	バンパーホマレ		※ スタラセダン		※⑩ タニハツコサン (サミディビシ=ヒガシナデシ)		マナーサスホープ (アウバ=アランシロー)
	ハンピンオー		ストロングナイン		※ テンマ (ミンシオ=ミマル)		マールペンタス (スチュベンダ=ササコガネタム)
※④	アゼンコトブキ	※	※ ヒダロマン		⑩ ヒカリシルバ (アルタプ=アビーバー)		マンジュデンキング (ゴールデンバ=カネスカイ)
	ムーンライトミスト		※ ミトモ		※ フタバトウコ (バーソロン=ホールドアップ)	※④	メイショウローレル (ゴールデンバ=カネスカイ)
	メジロサガミ				※ ホウカイブリティ (バーソロン=ラモア)	※	ヤマニンニシキ (スチュベンダ=ミズノール)
					※ マークリスカイ (マリーノ=マクリレコード)		ユキノカヅラ (アスチック=ミズノール)
					※ メイワロック (シルバーク=テツハヤ)		レーマツキンレー (テスコボーイ=グランドシムール)
					※ ユウトキワ (ミンシオ=ユウ)		ロングカ (アスチック=リュウビニ)
					※ リンネローゼン (テスコボーイ=ジーグリン)		ロングメーカ (シルバーク=ヒカリクラウ)

(計45頭)

(計44頭)

(計49頭)

(計49頭)